



東京地本に最先任上級曹長が誕生



自衛隊東京地方協力本部（本部長 牧野陸将補）は4月1日から最先任上級曹長として、総務課 吉田茂准陸尉を指定した。

この制度は部外との対応を主とする地本業務の特性を踏まえ、東京地本独自の制度として試行したもので、上意下達と下意上達を徹底することで准曹による指揮官の補佐機能をより一層強化することを目的としている。

今回、最先任上曹長として指定された吉田准陸尉は「東京地本は現在のコロナ禍で各種イベントや説明会が制限されている状況ですが、募集、援護、予備自業務を創意工夫しながら実施しております。今後は最先任ネットワークを活用して「上意下達、下意上達」による指揮官の補佐に努めるとともに、牧野本部長の要望事項である「自衛隊のいいね！❤️を拡散しよう！そして東京地本のいいね！❤️を全国の地本に拡散しよう！」をモットーに時代の変化に適應できる東京地本を目指し、日々邁進して行きます。」と意気込みを語った。

東京地本は本制度を生かし地本全体の連携を強化するとともに、今後も目標達成に向けて、引き続き業務に邁進するとしている。

都内FM局と協定を締結

自衛隊東京地方協力本部（本部長 牧野陸将補）は6月28日、レインボータウンエフエム放送株式会社（代表取締役 小嶋映治氏）と「災害情報等の放送に関する協定書」を締結した。

この協定は、都内で災害等が発生した場合において、地域住民に迅速かつ正確な自衛隊の生活支援活動情報等を周知することを目的としており、東京地本が平素から隊員のラジオ出演等、広報業務で協力いただいているレインボータウンエフエム放送株式会社から、協定について打診を受け、自衛隊内での検討を経て今回の協定書締結に至ったもの。

牧野本部長は「今回の協定により、災害発生時等に自衛隊が実施する各種活動等に関する情報を地域住民の方々に広く伝達する基盤を整えることができました。今後も関係機関等と連携し、地域に根差した活動を積極的に行っていきたいと思えます。」と述べた。

東京地本は今後も積極的に地域との連携を図り、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高められるよう、引き続き業務に邁進するとしている。

